



現在の子どもの様子		ねらい	行事	自己評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆朝の会、帰りの会を行う際、様々な歌を唄い自分の好きな歌が出来る。歌いたい歌をリクエストしたり、家でも歌う姿が見られる。</li> <li>◆様々な道具や素材を使って遊ぶ事は上手で発想力、想像力が育っているが、物を大切にしたり片付けると言った事が苦手な子が多い。片付けの必要性や物を大切にすることが育つようにその都度声を掛けたり皆で確認し合う様にする。</li> <li>◆暑さの影響もあり戸外で遊ぶ事を好まない子が増えてきた。秋になりまた様子が変化すると思われる。</li> <li>◆絵本の読み聞かせの時間が好きな子が多い。読み聞かせの際は集中している。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆季節の変化や活動状況に応じて、健康で安全な生活を送る。</li> <li>◆色々な運動に興味を持ち、全身を使って運動をする事を楽しむ。</li> <li>◆身近な自然事象に興味を持ち関心深める。</li> </ul>	<p>地域との関わり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆散歩で地域を歩く際季節の変化を感じたり、挨拶をしたりする。</li> </ul>	<p>戸外で遊ぶ機会が増え体を動かして遊ぶ事が多かった。様々な道具を用いて遊ぶ中で、片付ける事を伝えると共に、玩具の配置や玩具の種類の見直しを行った。日々の生活の見直しも考えたが、やはり大人が指示して送る生活スタイルではなく子どもが自主的に動くスタイルを心掛ける。大人が指示をしなくても、大人が次の活動に移ると見て食事の準備などを始める姿も見られる。またカードやタイマーなどを用いて時間の認識などが出来る様にした。引き続き子どもたちが分かりやすい生活の流れを作るように心がけたい。</p>
内容	環境構成	保育士の配慮		取り組みの状況と保育士の振り返り
<p>養護生・情 教育(健・人・環・言・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆気温や運動量に応じて休息や水分補給をしたり、汗の始末をしたりして、心地よく過ごせる様にする。</li> <li>◆自分の目標に向かって竹馬・縄跳び・とび箱など繰り返し取り組む。</li> <li>◆共通の目的やテーマを持って、友だちと一緒に意見を出し合う。</li> <li>◆友だちが工夫したり、調べたりする姿を応援したり、出来る様になったことを一緒に喜ぶ。</li> <li>◆敬老の日など秋の行事を知り興味をもとうとする。</li> <li>◆草花の変化に気が付、発見や驚きを伝えたり、種や実を集め形や大きさ、重さ、量を比較したりする。</li> <li>◆風や空の変化を保育士と一緒に観察したり、お月見の話をしたりする。</li> <li>◆友だちと気持ちを合わせながら、踊るたのしさや唄う楽しさを感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆いつでも水分補給できるようにお茶を用意しておくと共にゆっくり休憩出来る場所や時間の設ける。</li> <li>◆子どもたちが自分の目標に向かって用具や道具を使える環境を作る。</li> <li>◆共通のテーマを話し合ったり意見を出したことが分かりやすい様にホワイトボードなどを用意しておく。</li> <li>◆敬老の日の存在を知る事が出来る様にカレンダーに記入する。</li> <li>◆図鑑を用意し、種や実を調べる事が出来る様にする。</li> <li>◆採ってきた来た種の大きさや数、種類など分類できる容器などを用意しておく。</li> <li>◆長さ、重さなどを比べたり計ったり出来る様に計りや定規を用意しておく。</li> <li>◆様々な歌を唄いながら好きな曲が増える様にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆暑さに気を付けながら活動出来る様に考えと共に、自分たちで水分補給出来る様にする。着替えや水分補給の声掛けを行う。</li> <li>◆友だち同士でも遊びの中で運動遊び用の道具や用具を使うことが出来る様に事前に使い方や危険な事を伝えておく。</li> <li>◆一人一人発言する機会がある様に雰囲気を作ったり、出てきた意見を認める。</li> <li>◆敬老の日の意味を伝えると共に、昔おじいちゃんおばあちゃんが遊んでいた伝承遊びを一緒にやってみる。</li> <li>◆子どもたちの気づきに共感し、季節の移り変わりに関心を持つことが出来る様にする。</li> <li>◆遊びの中でも歌に触れる機会をもったり一緒に唄いながら新しい詩を覚える事が出来る様にする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆水分の摂取量が少ない子が自立し、定期的に声を掛ける様にした。体を動かして遊ぶと喉が渇き水分を摂るが、室内で遊んでいると水分は補給しない事が多い。</li> <li>◆竹馬を使う子どもの姿が時々見られた。とび箱をやりたいと声を掛けて来る子どもの姿も見られたが子どもの様子などから出来なかった。約束を守りながらとび箱も楽しんでいきたい。</li> <li>◆朝や帰りの時間帯、発言できる機会を設けた。今まで発言しなかった子どもが発言する姿も見られた。人の話が終わっていないのに発言しようとする子どもの姿も見られるため、話を最後まで聞く事も伝えていきたい。</li> <li>◆祝日の度に何で休みなのか子どもたちと話をした。</li> <li>◆芋ほりを行い、長い順に並べたり、自分の芋の方が大きい!と友達と比べる姿が見られる。</li> <li>◆朝、帰りなど歌は毎日唄った。日中に口ずさんだり、友だちと一緒に唄う姿、こっこ遊びの中で歌を唄うなど様々な姿が見られた。</li> </ul>
<p>食育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆さつま芋の収穫をする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆さつま芋が収穫出来る様に準備を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆さつま芋の大きさ長さ太さ重さなどに関心を持つと共にどのようにして食べるか子ども達と話しをしながら</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>◆さつま芋の収穫では大きな芋が沢山出て来て喜んで芋ほりを行うと共に、もっと大きな芋が出て来るのではないかの期待が感じられた。</li> </ul>